

古河歴史見聞録

初鋤入れ300年 飯沼新田開発

美田三千町歩へのスタート

飯沼新田開発

これまでにも何度か取り上げてきましたが、市内東部を縦断する長大な水田(南総土地改良区)は、江戸時代中期まで水を満々とたえた飯沼と呼ばれる沼でした。

この飯沼が、江戸幕府の新田開発奨励策に沿った干拓事業計画として進められ、初鋤入れ(工事着手)が行われたのが、今からちょうど300年前の享保10(1725)年1月のことでした。

開発前後

飯沼は、栃木県下野市付近と小山市鉢形付近から流れ出た水が合流して南下した川と、周辺の台地から流れ落ちる水が集まってできたもので、かなりの水量があったと考えられています。

平安時代には成立していたとされる『将門記』に登場する「広河江」は、飯沼を指していると考えられ、葦なども生い茂っていたと思われています。

この飯沼を干拓して水田にしようという計画は、江戸時代の早い時期から確認できます。現在知られる最も古い開発計画は、寛文9(1669)年のものですが、具体的な計画の内容は分かっています。それから30年以上経った宝永3(1706)年には、排水方法などを決めて幕府に開発申請をしましたが、これも実現には至りませんでした。新田開発が行われれば耕地は増加しますが、開発に関わる莫大な経費を村人たちが負担しなければならず、さらに生活の糧となる漁獵や水草採取などもできなくなってしまうため、周辺村々の内部にはさまざまな利害の対立があったからです。

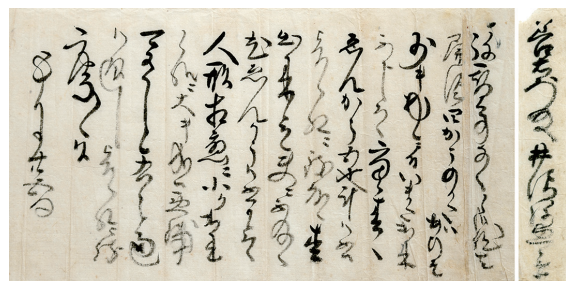
新田開発申請

こうした状況を経て、新田開発に向けて大きく動き出す契機になったのが、享保7(1722)年7月、幕府によって江戸日本橋に立てられた、諸国新田開発奨励の高札です。これを現地で直接見た岡田郡尾崎村(現八千代町)の名主は、すぐさま飯沼廻り村々の代表

として新田開発願いを幕府に提出しました。しかしこの時には、沼廻り村々の連印がないという理由で保留となったため、村々の合意を取り付けた上で、改めて8月に幕府に願書を提出します。

干拓開始と初鋤入れ

その後、幕府役人らによる現地調査などを経て、幕府が最終的に新田開発を許可したのは、最初に願書を提出してから2年近く経つ



▲仁連村名主に宛てた井沢弥惣兵衛書状

た享保9(1724)年5月のことでした。この決定を受けて、沼廻り村々では開発に向けたさまざまな協議などを実施。その年の12月25日、恩名・仁連・東山田など沼廻り村々の名主などが杓掛村(現坂東市)の香取神社に集まり、新田開発が無事に成就することを祈願し、参加者全員の血判をもって起請文を交わしました。

そして、享保10(1725)年1月10日、開発を主導した井沢弥惣兵衛(為永)をはじめとする幕府役人と、沼廻り村々の村役全員立ち会いのもとで初鋤入れが行われ、ここに開発に向けた本格的な工事が開始されました。

三和資料館では、後世「美田三千町歩」と呼ばれるようになる飯沼新田をテーマにした企画展を、7月12日(土)から9月15日(月)まで展示室にて開催します。この機会に、ぜひ、ご覧ください。

企画展開催

三和資料館学芸員 峯照男

【一般書/心理学】 精神科医が娘に送る心理学の手紙

ハン・ソンヒ 著

世界で一番大切にすべき人は、あなた自身だ。思いっきり折った無駄骨が、あなたの個性になる。精神科医が独り立ちする娘に、思い通りにならない世の中を軽やかに渡り歩く37のメッセージを送る。

出版社…ダイヤモンド社

【一般書/小説】 天までのぼれ

中脇初枝 著

女も住むこの国のことを、女抜きで決めないでほしい。男も女も、民衆には多くの権利がなかった100年以上前、高知で女性参政権を求めて申し立てをした楠瀬喜多。世界でも早い時期に声を上げた女性を描く評伝小説。

出版社…ポプラ社

図書館の本棚から



【児童書/自然科学】 10歳からの科学の常識100

池上彰 監修

クイズに答えながら、科学の知識を深めていく本。現代社会に欠かせない7つの科学をテーマに大人も知らない科学常識100を、図版やイラスト、写真と共に紹介する。池上彰による、もっと知りたくなる解説も掲載。

出版社…小学館

【絵本】 しば犬こたのおうちのきけん

影山直美 作

しば犬のこたとけんちゃん、急に2人でお留守番をすることに。けんちゃんは、インターフォンが鳴ってドアを開けそうになったり、ベランダから身を乗り出したりして…。しば犬こたといっしょに防犯や防災を学べる絵本。

出版社…神宮館



出城剣道スポーツ少年団
(剣道)

出城剣道スポーツ少年団は、礼儀や集中力を大切にしながら楽しく活動しています。基本の素振りから試合の技術まで、一人一人のペースに合わせて指導を行っているため、初めて竹刀を持つお子さんでも安心です。剣道を通じて体力・精神力を鍛え、仲間との絆を深めることもできます。

練習は週2回、古河第一小学校で行っており、見学や体験も随時受け付け中です。初心者から経験者まで、誰でも大歓迎。ぜひ、一緒に竹刀を交えましょう！



チームデータ

▼活動日

月曜日：18時～20時
土曜日：17時30分～19時30分

▼活動場所

古河第一小学校

▼問

毛受淳
Tel.090-1607-1001

